保育士試験「保育実習理論」試験対策　虎の巻

**【試験内容】**

「音楽に関する問題」「保育所保育指針に関する問題」「絵画に関する問題」「造形に関する問題」「創作（絵本）に関する問題」「法律に関する問題」です。

ちなみに、平成25年度は

「音楽に関する問題」・・６問

「保育所保育指針」・・・５問

「絵画に関する問題」・・2問

「造形に関する問題」・・3問

「創作（絵本）に関する問題」・・2問

「法律（児童福祉法）に関する問題」・・2問　でした。

保育実習理論試験は６割取れれば合格なので、**12問出来ればOKです**。

一番ウエイトの大きい６問を音楽で取って保育指針を押さえておけば、後は楽勝だ！

なお、絵画・造形は美大生でも悩むレベルです。確実に点数が取れるのは音楽と保育指針、法律（児童福祉法メイン。社会福祉法や憲法はここではまず出ません）。これらを押さえておけば大丈夫～♪（あくまで昨年度までの資料です）

**【問題の傾向と対策】**

**Point1：音楽用語は「速度」を中心に覚えよう**

大きく分けて「速度に関するもの」「強弱に関するもの」「曲想に関するもの」「奏法に関するもの」の４つです。

ちなみに、平成17年から今までの試験問題を調べて見たのですが、奏法に関する音楽用語は一度も出ていません。それとは逆に速度だけしか出ていない年もあります。

（音楽用語で一番覚えやすいのが「強弱」、次が「速度」です）

**Point２：コードは下の７つを覚えよう**



市販の対策本にはごちゃごちゃ書いてありますが、これだけ覚えれば保育士試験は大丈夫！

**①音楽用語　②コードだけ押さえておけば、あとはひたすら過去問題を解く！**

**これで「保育実習理論」は大丈夫!(^^)!**